

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 15-005

PDCA	事務事業名	福祉センター管理運営事業	部課等名	福祉部 地域福祉課 地域福祉担当	担当	竹之越夏姫	
					内線等	348	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第2節 地域福祉の推進 基本施策： 2. 高齢者福祉 単位施策： (2) 高齢者生きがいつくりの推進 個別施策： ①地域社会への参加の促進					
	根拠法令等	半田市身体障がい者福祉センター条例、半田市老人福祉センター条例、半田市ひとり親家					
	対象・目的	半田市福祉センターの利用を通じ、高齢者・障がい者等の社会参加に寄与する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	半田市福祉センター（身体障がい者福祉センター、老人福祉センター、ひとり親家庭福祉センター）の運営を半田市社会福祉協議会に委託し、各種イベント等の実施により施設の利用を促進し、福祉の増進を図る。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①福祉センターの開館日数	333	333	333	日	
		②福祉センター主催のイベント回数	2	2	2	回	
		③福祉センター利用団体利用回数	2,054	2,160	1,956	件	
		事業費	4,561	4,448	4,860	千円	
		人件費	445	952	937	千円	
		総事業費	5,006	5,400	5,797	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	①開館1日あたりのコスト	15	16	17	千円		
	②						
	③						
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①年間延べ利用者数	実績値	76,606	77,055	70,565	人
		目標値	78,000	77,000	78,000		
②		実績値					
目標値							
③		実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	C					
		登録団体の活動支援や、センター主催の利用団体活動発表会の開催により、利用者相互の交流に資することができた。また、施設管理については、ドアの修繕や障子の貼り替え等を早急に対応し、利用者が気持ちよく使用できるよう努めた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 施設の老朽化に伴い、様々な不具合が発生している。利用者が施設を安心して継続的に利用できるよう、運営委託先の半田市社会福祉協議会による日常的な見回りや設備の定期点検を通じ、不具合が生じた場合は早急に修繕を実施し、施設管理を徹底する。なお、令和元年度に各会議室の机と椅子を購入し、入れ替え作業を行う。また、活動内容の見直しを図り、より充実した事業を実施できるよう関係機関と協議を進めていく。				
		令和元年度の目標	成果指標	目標値		単位	
			①年間延べ利用者数	78,000		人	